

第32回 中央防災会議 議事要旨

(開催要領)

1 開催日時： 平成25年3月26日(火) 7:47~8:02

2 場所： 官邸4階大会議室

3 出席委員：

会長	安倍 晋三	内閣総理大臣
委員	古屋 圭司	国家公安委員長・内閣府特命担当大臣(防災)
同	麻生 太郎	副総理・財務大臣・内閣府特命担当大臣(金融)
同	新藤 義孝	総務大臣・内閣府特命担当大臣(地方分権改革)
同	谷垣 禎一	法務大臣
同	岸田 文雄	外務大臣
同	下村 博文	文部科学大臣
同	田村 憲久	厚生労働大臣
同	林 芳正	農林水産大臣
同	茂木 敏充	経済産業大臣・内閣府特命担当大臣(原子力損害賠償支援機構)
同	太田 昭宏	国土交通大臣
同	石原 伸晃	環境大臣・内閣府特命担当大臣(原子力行政)
同	小野寺 五典	防衛大臣
同	菅 義偉	内閣官房長官
同	根本 匠	復興大臣
同	山本 一太	内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策、科学技術政策、宇宙政策)
同	森 まさこ	内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全、少子化対策、男女共同参画)
同	甘利 明	内閣府特命担当大臣(経済財政政策)
同	稲田 朋美	内閣府特命担当大臣(規制改革)
同	黒田 東彦	日本銀行総裁
同	松本 正之	日本放送協会会長
同	鶴浦 博夫	日本電信電話株式会社社長
同	阿部 勝征	東京大学名誉教授
同	泉田 裕彦	全国知事会災害対策特別委員長
同	小室 広佐子	東京国際大学教授
同	渡邊 茂治	日本消防協会理事

(議事次第)

1 開 会

2 会長発言 (内閣総理大臣)

3 議 題

(1) 災害対策法制の見直し、南海トラフ巨大地震対策及び首都直下地震対策の検討状況について【報告事項】

(2) 「防災対策実行会議」の設置について【決定事項】

(3) 「平成 25 年度総合防災訓練大綱」について【決定事項】

(4) 会長専決事項の処理について【報告事項】

4 閉 会

(配布資料)

資料 1-1 南海トラフ巨大地震による被害想定 (第二次報告) について

資料 1-2 首都直下地震対策の検討状況について

資料 2 「防災対策実行会議」の設置について

資料 3-1 平成 25 年度総合防災訓練大綱案 (概要)

資料 3-2 平成 25 年度総合防災訓練大綱 (案)

資料 4 会長専決事項の処理について

(会議概要)

1 開 会

冒頭、古屋防災担当大臣より、開会の挨拶。

2 会長発言 (内閣総理大臣)

安倍内閣総理大臣から、災害により亡くなられた方、被災された方にお悔やみとお見舞いの言葉があった。次いで、先日、南海トラフ巨大地震について、非常に厳しい被害想定を発表したが、これは「あらゆる可能性を想定した最大クラスの地震・津波」を想定したもので、国民の皆様にはありのままを知っていただき、冷静に「正しくおそれてもらう」ことが重要である旨、また、本日の議題について活発な御議論をお願いする旨発言があった。

3 議 題

○ 亀岡内閣府大臣政務官から、(1) 報告事項「災害対策法制の見直し、南海トラフ巨大地震対策及び首都直下地震対策の検討状況について」から(4) 報告事項「会長専決事項の処理について」まで、資料 1-1 から資料 4 に基づき、説明があった。

○ 意見交換では、以下の発言があった。

・小野寺委員 (防衛大臣) から、南海トラフ巨大地震や首都直下型地震等の大規模災害

における、防衛省・自衛隊に対する国民の期待は非常に大きいものと認識しており、引き続き、関係機関と連携して対処能力の向上に努めてまいる旨発言があった。

・泉田委員から、原子力災害と自然災害の指揮系統の一本化と本部機能の充実について、検討を進めてほしい旨発言があった。

- 以上の説明・意見交換の後、議題（２）「防災対策実行会議」の設置について、及び（３）「平成 25 年度総合防災訓練大綱」について、原案のとおり決定された。

- 菅委員（内閣官房長官）から、今回設置された防災対策実行会議は、安倍政権として防災対策を「検討」から「実行」へ進めるためのエンジンと言うべき合議体であることから、それぞれの関係省庁にも御協力をお願いする旨発言があった。また、南海トラフ巨大地震及び首都直下型地震に対する対策については、引き続き議論を進め、さらなる防災対策の充実・強化に努めてまいる旨発言があった。

- 最後に、安倍会長（内閣総理大臣）から、本日の決定を受け、更なる防災対策の充実・強化に向け、防災担当大臣を中心に政府横断的に精力的な検討を行うとともに、各府省が連携して防災対策を着実に推進してほしい旨発言があった。

（以 上）